



# 高齢者実態把握調査の

## 結果と今後の取り組み

秦野市福祉部高齢介護課

### 調査目的

65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯（65歳以上の方のみで構成される世帯）の方は「秦野市在宅ひとり暮らし高齢者等登録要綱」に基づき、市に緊急連絡先等の登録が出来ます。この登録により、民生委員及び高齢者支援センターによる見守りと、必要に応じて介護保険や福祉サービスにつなげることを目的としています。

この度、平成29年5月から7月にかけて、民生委員の皆さまのご協力をいただき、市内のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯を対象に実態把握調査と登録の支援を行って頂きました。

### 平成29年度の実施方法

平成29年度から、ひとり暮らし高

齢者及び高齢者世帯として登録された方からの情報は、これまで、高齢介護課以外では民生委員と地域高齢者支援センターで共有しておりました。今後は、救急搬送等の際に親族等に迅速に連絡をとれるようにするため、消防本部にも情報を提供するように致しました。

そのため、今回は既に登録済の高齢者のお宅にも訪問していただき、前回登録時から変化している情報等の確認をするとともに、登録した情報を地域高齢者支援センターや消防本部と共有することへの同意をいただきました。

併せて、平成29年5月1日に「秦野市在宅ひとり暮らし高齢者等登録要綱」を改正し、情報共有機能に消防本部を追加しております。

また、登録の際に確認する情報は、

緊急連絡先に加え、かかりつけ医、常備薬、担当ケアマネージャー等を記入する欄も設けております。

### 事前調査

高齢者実態調査は、65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯が対象となりますが、「就労している」「健康上問題がないから」など、まだ登録の必要がないという方が多くあります。そのため、75歳未満の方には、登録の希望の有無を事前に確認し、登録を希望しない方は、今回の調査対象から外しました。

75歳以上の方には調査させていただく旨のハガキを送付し、民生委員の皆さまにご自宅を訪問していただきました。

### 調査結果

平成29年1月の住民基本情報に登録されていた65歳以上の人口は45,040人で、住民基本情報上のひとり暮らし高齢者の人口は10,093人、高齢者世帯は9,034世帯でした。

調査後に新規で登録をしたひとり暮らし高齢者は705人（既登録者と合わせると3,312人）、高齢者世帯は821世帯（既登録世帯と合わせると2,591世帯）となっています。

|        | 本町   | 南    | 東    | 北    | 大根   | 西    | 渋沢   | 末広   | 南が丘  | 広畑   | 鶴巻   | 堀川   | 合計    |
|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 調査対象世帯 | 1332 | 1653 | 1450 | 1189 | 1671 | 1523 | 2018 | 1413 | 1017 | 1271 | 1724 | 1075 | 17336 |
| 独居     | 733  | 825  | 669  | 507  | 744  | 666  | 970  | 758  | 442  | 724  | 947  | 539  | 8551  |
| 高齢者世帯  | 599  | 801  | 781  | 682  | 927  | 857  | 1048 | 655  | 575  | 547  | 777  | 536  | 8785  |
| 登録世帯   | 448  | 476  | 456  | 242  | 463  | 559  | 643  | 621  | 360  | 494  | 711  | 430  | 5903  |
| 独居     | 272  | 290  | 238  | 123  | 248  | 270  | 347  | 369  | 171  | 320  | 431  | 233  | 3312  |
| 高齢者世帯  | 176  | 186  | 218  | 119  | 215  | 289  | 296  | 252  | 189  | 174  | 280  | 197  | 2591  |

|                   | 本町   | 南    | 東    | 北    | 大根   | 西    | 渋沢   | 末広   | 南が丘  | 広畑   | 鶴巻   | 堀川   | 合計    |
|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 調査対象世帯            | 1332 | 1653 | 1450 | 1189 | 1671 | 1523 | 2018 | 1413 | 1017 | 1271 | 1724 | 1075 | 17336 |
| 登録世帯              | 448  | 476  | 456  | 242  | 463  | 559  | 643  | 621  | 360  | 494  | 711  | 430  | 5903  |
| 登録を希望しない          | 383  | 600  | 458  | 497  | 752  | 453  | 782  | 398  | 377  | 484  | 343  | 314  | 5841  |
| 親族と同居             | 329  | 387  | 391  | 338  | 343  | 379  | 374  | 198  | 173  | 164  | 241  | 240  | 3557  |
| 親族と同敷地内で生活        | 77   | 102  | 87   | 67   | 75   | 88   | 88   | 107  | 57   | 41   | 53   | 44   | 886   |
| その他 (施設等入所、転居、死亡) | 95   | 88   | 58   | 45   | 38   | 44   | 131  | 89   | 50   | 88   | 376  | 47   | 1149  |

### 今後の取り組み

今後、ますます高齢者の増加が予想されています。多くの高齢者を支えていくためには、民生委員の皆さまの日頃の見守り活動が非常に重要になります。登録を拒否された方につきましても、サービスが必要となった時には、迅速に支援につながるよう努めてまいります。

また、地域でのサロン活動、介護予防活動、ボランティア活動など、より多くの高齢者がいきいきと元気に活動していただけるよう、取り組んでまいりたいと思っております。

### 協力へのお礼

本調査は、民生委員の皆さまの多大なるご尽力があつて、無事終了することが出来ました。心よりお礼申し上げます。また、配慮が行き届かず、ご心配やご迷惑をおかけしたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

この調査結果を踏まえて、高齢者にとつて暮らしやすい地域づくりをめざし、今後も皆様とともに検討していきたいと考えております。民生委員の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご協力をいただきませう。何卒宜しくお願い申し上げます。



**タウンニュース社を視察**  
広報部

昨年7月21日、広報部員12名は、研修の一環として、東海大学前駅近くのタウンニュース社を訪問しました。

現在タウンニュースは、神奈川県全域に、地域に密着した街のニュースや、生活情報を届けています。発行部数は22万部、フリーペーパーとしては、全国4番目の規模になっています。

支社長の説明で、まず紙面の成り立ち、割り付けなど見出し作りのポイントを学びました。

職場見学では製作部を見学、10数人のスタッフで広告の営業、取材及び記事原稿の作成を行っているとの

ことです。

そのあと編集長から実際の記事を読んで、見出しを考えるとという演習で、良い見出しの例を学びました。ポイントは・何を読者に伝えたいのか・見出しは11文字以内で簡潔に・すべて漢字は避ける等でした。

カメラ講座では、「アングル」「構図」「光」などすぐにできる写真の撮り方のコツを学び、質疑応答を通してさらに深く理解を深めることができました。

今回の研修では、「まなざし」の紙面作成に色々活用できることが多くあり、これからの広報紙作りに生かしていきたいと思えます。



# 地区活動だより・事例報告

## 稲作り体験から配食まで

東民児協

東地区では、小学校と地域（東地区社協・まちづくり委員会・JAはだの）が連携し、子どもの健全育成事業として「あずまの里・稲作り体験教室」を行っています。

収穫したお米の一部は、年3回実施されるひとり暮らし高齢者の配食サービスに使用されます。栄養を考えた献立で調理を担当するのは、婦人会（10月）・ボランティアコーデイネーター（12月）・食生活改善推進団体（1月）の3団体です。1回につき、2日に分けて調理しています。

民児委員は、東小学校の5年生が体験する田植えと稲刈りのサポートを行いました。種まきから収穫まで子ども達は元気いっぱい取り組み、秋には無事に作業を終えまし



た。

さらに、9月下旬頃になると、ひとり暮らし高齢者を訪問し、稲作りを頑張った子ども達の話や調理担当を紹介しながら配食希望を伺います。

こうして迎えた配食サービス当日、公民館調理室からの美味しい匂いに包まれながらお弁当の数を確認し、心待ちしている顔を思い浮かべながら配達に出発します。1回目



（10月）の配食は125食の希望があり、稲作りに携わった5年生からの手紙が添えられます。配食後、高齢者からは

「とても美味しかった」「ありがとうと伝えて下さい」といった感謝の言葉が数多く寄せられました。

この事業は、子ども達だけでなく、地域も一体となって収穫の喜びや食の大切さ、感謝の心を学べる機会になっています。

## 専任ボランティア研修会

西民児協

西民児協では、民児委員活動の協力員として、専任ボランティア制度を設けています。この制度は、昭和56年に発足し、その後、見直しや検討を重ね、平成22年に設置規約等を作成し、活動を続けてきました。

現在、民児委員24名に対し、専任ボランティアは57名が登録。地域担当の民児委員からの依頼に応じて、援助を必要とする人への声かけと見守り、民児委員への情報提供、配食ボランティアの協力など、身近な活動をお願いしています。

この制度を活用し、地域の高齢者支援体制をより充実させるために、年1回、専任ボランティア研修会を開催しています。

昨年9月6日には、市高齢介護課の協力を得て、西公民館に於いて、専任ボランティア23名・民児委員22名が参加し、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。講師は秦野市認知症キャラバン・メイトの加藤満智子様にお願いしました。

前半は、啓発ビデオにより、その実態と対応の概略を学び、後半は、テキストに沿ってお話をしていたできました。



認知症を引き起こす主な原因や、予防等、多岐にわたり学びましたが、具体的な対応の心得として、「驚かせない・急がせない・自尊心を傷つけない」の「3ない」は、見守り活動の基本であること。早期発見、早期受診・診断、早期治療がその後の生活を左右する大切なことである等が認識できた研修会でした。

ちなみに、全国民児委員連合会によると、この専任ボランティアのような「協力員」を置く市区町村は、全体の約9%と、まだまだの様です。今後、こうした協力者の輪が大きくなっていくことを期待しているところです。

# 湧水

## 高齢者支援センターの紹介

### 大根地域高齢者支援センター

#### はじめに

私ども、大根地域高齢者支援センターは、秦野市から委嘱を受け、湘南老人ホームを拠点に地域の高齢者の相談窓口として活動しております。しかしながら、その拠点は担当エリアの東端に位置しており、住民側からは不便な環境にあるため、当センターでは秦野高校隣り、下大槻団地入口に「サブセンター」を設けております。



全国的には、「地域包括支援センター」と言われ、65歳以上の方々の生活全般の相談窓口となっております。秦野市の高齢化率は27%を超え、特に下大槻団地においては、その率が50%を超える地域となっております。喫緊の課題となっております。その

ような状況下で、当センターは年間6000件（平成28年度実績）を超える相談を受け、その件数は年々増加傾向にあります。

相談内容も、介護保険利用の相談に留まらず、成年後見制度、高齢者虐待、同居する家族の相談など支援センターが開設された12年前と比べ、多問題化、複雑化しており、支援センター単体では解決できない問題も増えております。

#### 体制と対応

当センターでは、現在、主任介護支援専門員1名・社会福祉士2名・保健師1名・看護師1名・訪問調査職員3名が配置されており、民生委員、地域の方々、関係機関の協力を仰ぎながら問題解決に当たっております。

また、数年前より「地域包括ケアシステム」の実現に向け「地域ケア会議」を開催しております。現在、「下大槻団地」「北矢名・南矢名」の2地域を中心にケア会議を開催しております。

その中で、地域の現状、課題抽出、対応策の検討など大変有意義な意見

交換が出来ていると感じております。

#### 介護予防教室等の開催

昨年に引き続き、介護予防教室の開催、サロン活動への参加、認知症サポーター要請講座の開催など、地域の方々



が住み慣れた地域で、生活を継続できるような支援を行っています。

認知症対策では、認知症カフェの活動支援、大根公民館との共催による認知症サポーター養成講座の開催、地域活動については「地域交流センターぷらっと」において、地域の方々が気軽に立ち寄れる「ぷらっと茶の間」を開催し、また地域の活動団体に「ぷらっと」の無料開放もしております。

#### おわりに

地域高齢者支援センターの業務は多岐にわたっております。どんな些細な相談でもかまいません。お気軽に相談して頂けるよう職員一同お待ちしております。

#### 新役員紹介

平成29年12月1日付

##### ▼役員

二村 操 (西地区 会長)

##### ▼新広報部員紹介

江口 純一 (末広)

吉本 邦彦 (南が丘)

#### 編集後記

寒風に耐えた桜のつぼみもほころび、秦野の街も花の季節を迎えました。

特集記事のとおり、ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の登録数が増加しています。

平成30年1月末日より情報共有機関として消防本部も追加されたことは、安心への第一歩と喜ばしく思います。また改めて、民児委員として、日頃の見守り活動の重要性をより痛感しました。

ところで、カラー化した紙面は、いかがでしょうか。これからも、写真等を多く掲載し、より読みやすい紙面づくりに努めていきたいと思っております。

